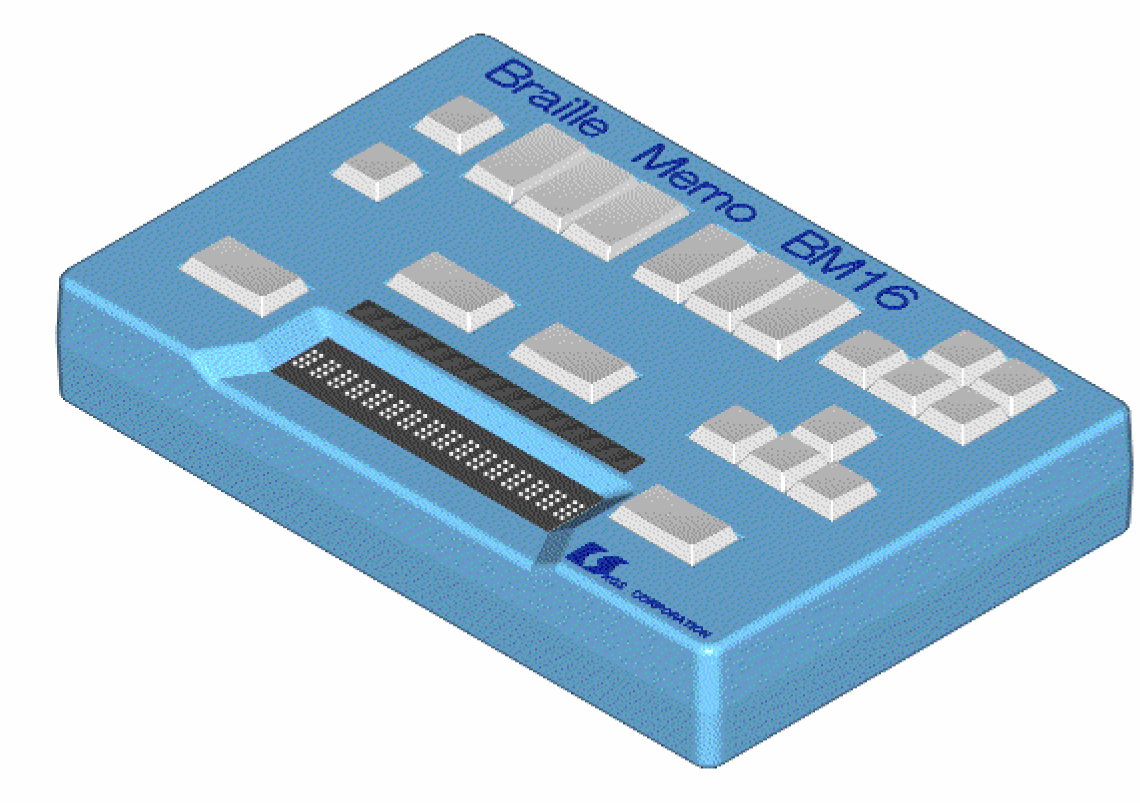
携 帯 型 点 字 電 子 手 帳

ブレイル メモ ＢＭ１６

Braille　Memo　Ver. 1.4

取 扱 説 明 書



点字文化を推進するＫＧＳから
新しい提案

ケージーエス株式会社

目　　次

ブレイルメモBM16取扱説明書Ver.1.4
作成日2006年7月1日

―　お願い　―

本取扱説明書は序章（入門編／１２ページ）までしか印刷しておりません。
第１章（基本操作編／１３ページ）以降が御必要な場合はご面倒ですが
添付ＣＤのＰＤＦファイルをご覧頂くか、もしくはＰＤＦファイルより
印刷頂きますようお願い申し上げます。

はじめに

１、ブレイルメモの特長

ブレイルメモ『BM１６』は、８点１６マスの点字表示部と、点字を入力・編集するためのキーを備えた携帯型点字電子手帳です。

『BM１６』には、点字文書を読み書きする機能の他、時計・電卓・アラーム・スケジュール帳などの、便利な機能が用意されています。

また、『BM１６』は、当社が推進いたしますブレイルファミリ構想の一翼を担う機器として、また、ブレイルノートや点字プリンタ、コンピュータと接続していろいろな使い方ができるように設計されています。

『BM１６』には、以下のような特長があります。

（１）柔軟で使いやすいユーザインターフェース

『BM１６』には、最大１２８個までの点字文書を記憶しておくことができます。

入力した文書は、３．５メガバイトの内蔵メモリに保存され、電源を入れれば前の状態からすぐに編集をはじめることができます。

点字文書の編集機能では、行やページの概念もサポートしていますので、使いやすさを実感していただけると思います。

また、ページ行の編集や、目次作成などの機能も用意していますので、パソコン上の点字編集ソフトウェアに近い感覚でお使いいただくことができます。

さらに、メニュー方式の採用や、充実したカスタマイズ機能など、初心者から上級者の皆様まで使いやすいように設計されています。

（２）携帯に便利な設計

『BM１６』は、携帯性を重視した設計で、内蔵バッテリーにより約２５時間の連続使用が可能です。

フル充電に必要な時間は約４時間で、バッテリーに残量があっても追加充電することができます。

（３）拡張性

『BM１６』を他の機器と接続して使用するために、シリアル・ポート（RS－２３２C・９ピン）を１ポート用意しています。

『BM１６』をパソコンと接続すると、点字文書の送受信を行なったり、『BM１６』を点字ピンディスプレイとしてパソコンの操作に使用することができます。（ただし、『BM１６』を点字ピンディスプレイとして使用するためには、対応ソフトウェアが必要です。）

また、『BM１６』同士を接続することで、文書の送受信を行ったり、点字プリンタと接続して点字印刷を行ったりすることができます。

さらに、弊社の点字ディスプレイ「ブレイルノート（46C/46D）」、「ブレイルテンダー（BT４６）」を接続すれば、広い点字表示で文書の編集を行うことができます。

（４）「閲覧専用文書」のサポート

「閲覧専用文書」は、暗号化技術を用いて情報の著作検を保護できる機能を付加した点字文書の形式です。

当社では、より多くの有用な点字情報がネットワークなどを介して流通するようになることを目差して、ブレイルメモ・シリーズ、およびブレイルノート「BN４６X」（Ver１．１以降）でこの形式をサポート致します。

この機能について、詳細は、「２－４　閲覧専用文書」の項を参照してください。

なお、「閲覧専用文書」は、パソコン上の点訳ソフトでは利用できませんので、予めご了承ください。

２、本マニュアルの構成

序章　入門編

『ＢＭ１６』の入門コースです。具体的な例を上げながら基本的な操作方法を説明し、『ＢＭ１６』の機能を紹介します。なお、墨字・点字印刷したマニュアルは、序章　入門編のみをお付けしています。基本操作編　第１章以降は、添付のＤＩＳＫまたは、本機の中に保存されているデータをお読みください。

第１章～第５章　基本操作編

『ＢＭ１６』でのメニュー操作や、文書の管理の方法を詳しく説明します。
文書の編集方法や、電卓、時計、スケジュール帳などのアクセサリ機能について解説します。

第６章、第７章　レイアウト・印刷編

『ＢＭ１６』で作成した文書のレイアウトを整え、印刷するまでの操作を詳しく説明します。

第８章　外部機器との接続編

文書の送受信や、点字ピンディスプレイとしての使い方など『ＢＭ１６』を他の機器と接続するためのコマンドについて解説します。

第９章、第１０章　カスタマイズ編

『ＢＭ１６』の各種設定機能について詳しく説明します。

第１１章　トラブル解決編

セルフ・テスト機能の使い方や『ＢＭ１６』がうまく動かないときの対処方法について、解説します。

３、ご使用上の注意事項

本機を末永くご使用いただくために、以下のことに注意してください。

（１）直射日光のあたる場所、湿気の多い場所、極端な気温差のある場所や、ほこりの多い場所でのご使用は避けてください。 使用温度範囲は、５℃～３５℃です。
（２）コーヒー、ジュースなどの飲み物や、花瓶の水などをこぼさないでください。
（３）分解しないでください。分解されますと、性能を保証することができなくなります。
（４）落としたりたたくなど、強く衝撃を与えないでください。
（５）ＡＣアダプタは、本機専用の物をご使用ください。他のＡＣアダプタは、絶対に使用しないでください。他のＡＣアダプタを使用すると、故障する危険性があります。
その場合、故障しても、保証はできません。
（６）本機が汚れたときは、乾いた布で拭くか、中性洗剤の溶液に浸して硬く絞った布で拭いてください。シンナーやベンジン等は、使わないでください。
（７）ラジオや、テレビのすぐそばでは、使用しないでください。受信障害の原因になることがあります。
（８）もしも故障した場合は、お買い上げ店または弊社ＶＩＰ営業部までご連絡ください。

℡：０４９３－７２－７３１１

記憶内容の保証について

本機に記憶された情報は、バックアップ電池（内蔵電池）によって、電源オフ時にも保存されます。
しかし、長期間（バックアップ電池がフル充電で６ヶ月間）本機をご使用にならないと、このバックアップ電池の容量が空になり、内部に記憶されている情報（データ）が失われることがあります。 また、データ受信時等に電源をオフにされますと、データの一部を失う可能性があります。
このため、大切な情報は、本機のみで管理することは避けてください。
また、本機を修理する場合、故障箇所によっては記憶内容を保証しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

「操作ロック」機能について

本機には、内部に保存している情報を誤って他の人に見られてしまうことのないよう、操作をロックし、パスワードで保護する機能があります。
この操作ロックは、パスワードを設定しなければ掛かることはありません。
しかし、何かパスワードを設定しておかないと、第３者に勝手にパスワードを設定され、操作ロックを掛けられてしまう危険性もあります。
この「入門編」で本機の操作を充分練習したら、操作ロックの必要がなくても、念のため、あなたのパスワードを設定しておくことをお勧めします。
パスワードの設定方法については、「５－１０　パスワードの設定と操作ロック」を参照してください。
なお、「操作ロックの機能は使用しない」という方は、パスワードの設定の際、「操作ロックを有効にしますか？」と聞かれた所で「Ｎ」（Ｎｏ）を選択してください。

４、各部の名称と操作キーの役割

まず、『ＢＭ１６』の全体レイアウトを確認します。
沢山のキーが並んでいるのが上面です。
その面の一部で、細長くへこんでいる所が、点字表示部です。点字表示部が手前側にくるように置いてください。
向かって左側面の奥の方に、電源スイッチがあります。手前側に倒すとオン、向こう側に倒すとオフになります。
また、背面のやや左側にＡＣアダプタのさし込み口があります。ＡＣアダプタを接続するときは、電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
さらに、背面側ほぼ中央にあるのが、通信用のシリアルポート（ＲＳ－２３２Ｃ、９ピン）で、本機を他の機器と接続する場合に使用します。
『ＢＭ１６』には、合計３７個のキーがあります。これらのキーは、それぞれの役割によって次のように５グループに分けることができます。

（１）シフトキー・グループ…４個
シフトキー・グループには、左シフト（LShift）キー，右シフト（RShift）キー，コントロール（Ctrl）キー，オルト（Alt）キーの合計４個のキーがあります。
まず、手前の点字表示部の左右にある横長のキーが、左右のシフトキーです。
また、左シフトキーの奥に前後に並んだ２個のキーの内、向こう側がコントロールキー、手前がオルトキーです。
これらのキーは、単独で使用することもできますし、他のグループのキーと組み合わせて使用す

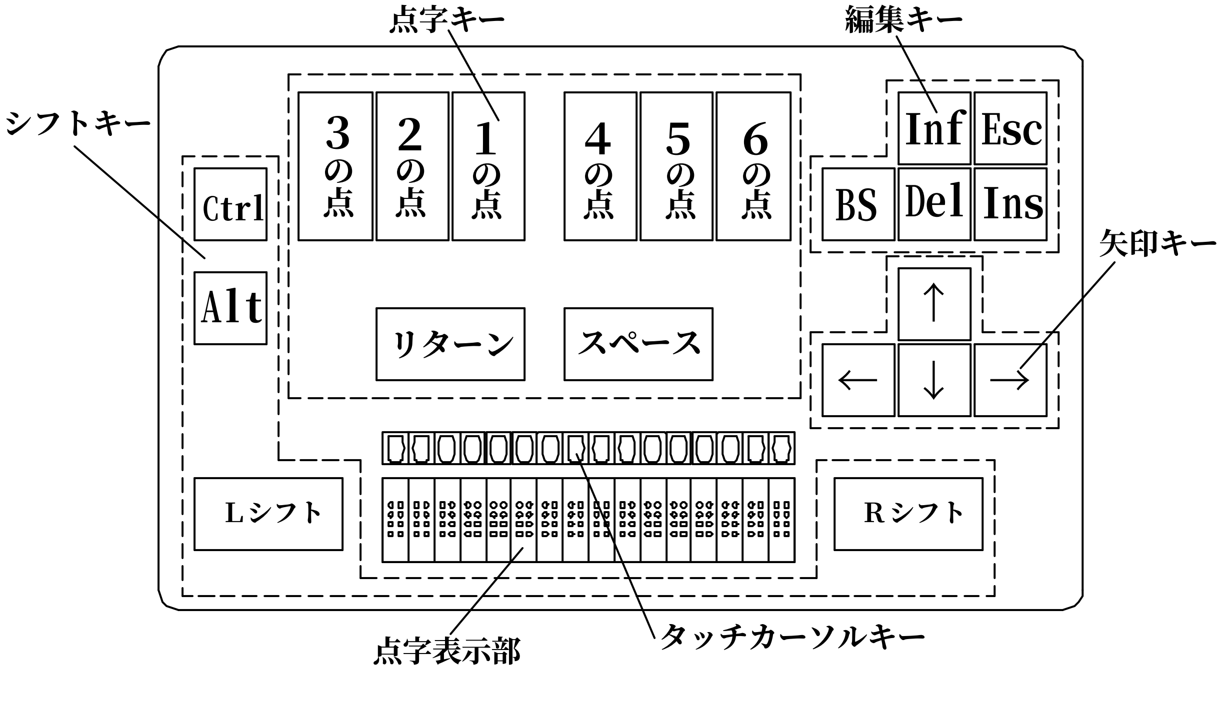
ることもできます。
　本マニュアル内の『ＢＭ１６』の操作説明で、左シフトキーまたは右シフトキーのどちらでもよい場合は、単にシフトキーと表記しています。

（２）点字キー・グループ…８個
　点字キーには、１の点キー～６の点キー、左親指キー、右親指キーの合計８個のキーがあります。
　コントロール（Ctrl）キーの右側の横に並んだ６個の縦長のキーが、１の点から６の点までの点字キーです。
　初期設定では、これらのキーは、パーキンス式に、左端が３の点キー、右端が６の点キーになっています。
　その手前にある横長の２個のキーが、左親指キーと右親指キーです。初期設定では、右親指キーがスペースキー、左親指キーがリターンキーになっています。
　これは、お好みに合わせて変更することができます。

（３）編集キー・グループ…５個
　右奥の方にある５個のキーのグループが編集キーです。
　手前の３個のキーは、左から、バックスペース（BS）キー、デリート（Del）キー、インサート（Ins）キーです。
　その向こうにあるキーが、左から、情報（Inf）キー、およびエスケープ（Esc）キーになります。

（４）矢印キー・グループ…４個
　編集キーの手前にある４個のキーのグループです。
　手前に並んだ３個のキーが、左から順に左矢印キー、下矢印キー、右矢印キーになります。
　そして、下矢印キーの向こう側にあるキーが上矢印キーです。

（５）タッチカーソルキー…１６個
　各点字表示マスの上にある丸いキーです。



『ＢＭ１６』のキー配置
※操作キーに墨字表示が必要な方は、付属品のシールを貼ってください。

５、電源・バッテリーについて

『ＢＭ１６』は、約２５時間連続使用できる容量を持ったバッテリーを内蔵しています。

本機に付属のＡＣアダプタが接続されている時には、電源スイッチのオン/オフにかかわらず、バッテリーが充電されます。

バッテリーを空の状態からフル充電するために必要な時間は、およそ4時間です。

また、バッテリーに残量があっても追加充電することができます。

バッテリーの状態は、以下のようにチェックすることができます。

（1）『ＢＭ１６』の電源スイッチをオンにします。

（2）コントロール（Ctrl）キーを押しながら、情報（Inf）キーを押します。

すると、点字表示部に次のメッセージのいずれかが表示されます。

①ＡＣアダプタを接続している時は

ａ、「バッテリーの状態を調べています。」

ｂ、「充電中です。」

ｃ、「充電が完了しました。」

ｄ、「充電エラーです。」…この場合、バッテリーまたは充電回路のトラブルで、点検・修理が必要です。

②ＡＣアダプタを接続していない時は

ａ、「十分に充電されています。」

ｂ、「バッテリーを使用しています。」

ｃ、「すぐに充電してください。」

『ＢＭ１６』を外出先などで使用する場合は、予めバッテリーを充分に充電しておいてください。

バッテリーを使用していて、残量が少なくなると『ピッピッ』とブザー音が１０秒間隔で鳴り始めます。

この場合は、できるだけ早くＡＣアダプタを接続して充電を行ってください。

なお、前述（2）の方法で充電状態を表示させリターンキーを押せば、このブザー音を１０分間ストップすることができます。

バッテリーの寿命は使用状態にもよりますが、およそ１年です。
１年以上ご使用になったバッテリーは、交換して下さるようお願いします。
またバッテリーの交換はご自分でなさらず、弊社ＶＩＰ営業部にご連絡の上、お送りいただきますようお願いいたします。
℡：０４９３－７２－７３１１

入 門 編

序章　　　まず、使ってみましょう

序章－１　文書の読み書き

この章では、『ＢＭ１６』を利用して、文書を読み書きするための操作を解説します。

１、『ＢＭ１６』のメインメニューについて

『ＢＭ１６』は、全ての機能をメインメニューから選択することができるので、特に難しいキー操作を覚える必要はありません。

現在開かれている文書が無い場合は、『ＢＭ１６』は、電源スイッチを入れるとメインメニューを表示します。

また、どのような状態からもエスケープ（Esc）キーを押すとメインメニューに戻ることができます。

<u>メインメニューでは、以下のような操作が可能です。</u>

右シフトキー…メニュー項目を順番に読み進みます。
上／下矢印キー…前後の項目に移動します。
右矢印キー…一階層下のメニューに入ります。
左矢印キー…一階層上のメニューに戻ります。
リターンキー、またはタッチカーソルキー…現在表示している項目を選択します。
エスケープ（Esc）キー…メニュー選択を中止します。

ただし、メニュー項目の先頭に『メメ』『　』の表示されている項目は、無効な状態で選択できないことを意味しています。

また、メニュー項目の最後に「―」「ハイフン」（　3,6の点）が表示されている項目は、その項目の下にサブメニューがあることを意味しています。

『ＢＭ１６』のメニューについての詳しい説明は、基本操作編　第１章　「１、メニュー」を参照してください。

２、マニュアルを読んでみましょう

それでは、『ＢＭ１６』を使って、文書を読んでみましょう。

ここでは、出荷時に『ＢＭ１６』に内蔵されているマニュアルを例にとって、文書を読む方法を説明します。

初めに、メインメニューの「１　文書」 → 「１　文書一覧」から、このマニュアルを呼び出してみましょう。

<u>操作の手順は、以下のようになります。</u>

（１）メインメニューを開きます。既に文書を開いている場合は、エスケープ（Esc）キーを押してください。
（２）下矢印キーを押して、「１　文書」へ移動します。
（３）右矢印キーを押して、そのサブメニューに入ります。
　すると、このサブメニューの先頭項目である「１　文書一覧」が表示されます。
（４）ここで、リターンキーを押すと、『ＢＭ１６』に記録されている文書の一覧表を表示します。
（５）上/下矢印キーを押して、この文書のタイトルである、「ＢＭ１６ユーザーズマニュアル　「第１章　入門編」を表示させます。
（６）ここで、リターンキーを押すと、この文書が開きます。

これで、目的の文書が『ＢＭ１６』に表示されました。
もしも、このような表示にならない場合は、上記の操作をやり直して見てください。
マニュアルが開いたら、早速読んで見ましょう。
マニュアルを読むためのキー操作は、以下のようになります。

右シフトキー…文書を後ろに移動しながら読み進めます。
左シフトキー…文書の前方向に戻ります。
上／下矢印キー…行単位で文書内を移動します。
下矢印キーと右矢印キーの同時押し…次のページへ移動します。
上矢印キーと左矢印キーの同時押し…前のページへ移動します。
コントロール（Ctrl）キー、オルト（Alt）キーと上矢印キーの同時押し
…文書の先頭へ移動します。
コントロール（Ctrl）キー、オルト（Alt）キーと下矢印キーの同時押し
…文書の末尾へ移動します。
他にもいろいろなキー操作がありますが、徐々に覚えて行きましょう。
まずは、これらの操作で実際にこのマニュアルを読んでみてください。

３、見出し行を読むには

長い文章には、章や節といった区切りがあって、その見出しを追うだけで、どのようなことが書いてあるかが分かるようになっています。
このマニュアルのデータには、各節の先頭に「見出し行」のマークが付けてありますので、次のような操作で簡単に目的の節に移動することができます。
（１）下・左・右矢印キーの同時押し　…　次の見出し行へ移動します。
（２）上・左・右矢印キーの同時押し　…　前の見出し行へ移動します。
見出し行についての詳しい説明は、第３章の「３、見出し行の利用」を参照してください。

４、キーワード検索をするには

『ＢＭ１６』には、多彩な機能があるため、マニュアルの内容も多くなっています。
そこで、目的の項をより早く見つけられるようにするために、ここで「キーワード検索」の方法を練習しておきましょう。
ここでは、例として今開いている文書『ＢＭ１６ユーザーズマニュアル』の中から、「ブレイルメモ」というキーワードを検索してみます。
操作の手順は、以下のようになります。
（１）シフトキーと、左・右親指キーを同時に押して、「新規検索」コマンドを実行します。
シフトキーは、左シフトキーでも右シフトキーでもかまいません。
（２）このコマンドを実行すると、まず、検索キーワードを指定する状態になります。
ここで「検索」と表示されている後ろに「ブレイルメモ」と入力します。
点字キーから、１文字ずつ入力してください。
もしも書き間違えてしまった時は、バックスペースキー（６の点キーの右側のキー）を押して消します。
入力できたら、リターンキーを押して次に進みます。
（３）次は、今指定した検索キーワードが「行頭」にあるものを検索するのか、「行末」にあるものを検索するのか、または「見出し行」にあるものを検索するのかを指定する所です。
今回は、この機能は利用しませんので、リターンキーを押して次に進んでください。
（４）最後に、検索キーワードを探す方向を、「前」、「後ろ」、「初めから」、「全ての文書から」の中から選びます。それぞれの頭文字「ま」、「う」、「は」、「す」のどれかを点字キーから入力してください。「前」や「後ろ」は、点字表示部に今表示されている所を基点として、文書の

前の方を検索するか、後ろの方を検索するかという意味です。
「初めから」は、今の表示位置と無関係に、この文書の中で一番最初にキーワードが使われている所に移動します。「全ての文書から」は、その名の通り、ブレイルメモの内に保存されている全ての文書の中からキーワードを検索し、キーワードが見つかった文書を表示します。
複数の文書の中にそのキーワードが書かれている場合には、それらの文書の一覧が表示されます。

（５）キーワードが見つかると、検索作業が終了し、表示位置がその場所に移動します。
もし、選択した方向にキーワードが見つからなければ、次のようなメッセージが表示されます。
「キーワード　”ブレイルメモ”が見つかりませんでした。」
この場合は、エスケープ（Esc）キーを押してメッセージをキャンセルしてください。

続けて同じキーワードを検索する場合は、次のように操作します。

（１）文書の後ろに向かって検索する場合は、シフトキーと右親指キーを押します。
（２）文書の先頭に向かって検索する場合は、シフトキーと左親指キーを押します。
慣れるまでは、少し手順が多いのですが、いろいろな言葉を検索してみてください。

５、文書を書いてみましょう

さて、文書を読む方法はおわかりになりましたでしょうか？
それでは、いよいよ『ＢＭ１６』を使って文書を書いてみることにしましょう。
ここでは、新規に文書を作成し、そこに何か簡単な文章を書いてみます。

操作の手順は、以下のようになります。

（１）エスケープ（Esc）を押して、メインメニューを開きます。
（２）下矢印キーで、「１　文書」へ移動します。
（３）右矢印キーを押して、そのサブメニューに入ります。
すると、このサブメニューの先頭項目である「１　文書一覧」が表示されます。
（４）下矢印キーを押して、「２　新規文書の作成」へ移動します。
（５）リターンキーを押して、このコマンドを実行します。
（６）「新規文書の作成」コマンドを実行すると、まず、これから作る文書の名前を入力する状態になります。点字表示部に、「文書名」と表示されれば、OKです。名前は、何でも良いのですが、ここでは「練習」と入力します。
点字キーから、１文字ずつ入力してください。もしも書き間違えてしまった時は、バックスペースキー（６の点キーの右側のキー）を押して消します。
（７）文書名が入力できたら、リターンキーを押してください。
これで、「練習」という名前の新しい文書が作られ、その本文を編集する状態になりました。
一番左のマスの下の２点が点滅していますが、これがカーソルを示す表示です。
点字キーから文字を入力すると、カーソルの位置に挿入されます。

この状態で使えるキー操作は、以下のようになります。
６点キー…点字を入力します。
スペースキー（６点キーの手前、右側のキー）…マス空けを入力します。
リターンキー（６点キーの手前、左側のキー）…改行します。
バックスペース（ＢＳ）キー（６の点キーの右のキー）…カーソルの前１文字を削除します。
デリート（Del)キー（バックスペースキーの右のキー）…カーソル位置の文字を削除します。

スペースキーとリターンキーの配置は、お好みによって、変更することができます。

なお、編集している状態で左シフトキーまたは右シフトキーを押して表示を移動させると、カーソルが表示されない状態（カーソル＝オフの状態）になります。
これは、不必要な点を消して、文書を読みやすくすると共に、読んでいる内に誤って文書の内容を変更してしまうのを防ぐためです。
カーソルをオンにして編集作業を続けるには、タッチカーソルキーを押してください。

『ＢＭ１６』での文書の書き心地はいかがでしょうか？
それでは、次に進みましょう。

６、文書の削除

ここでは、『ＢＭ１６』に記憶されている文書を削除する方法について説明します。
例として、先ほど書いた「練習」と言う文書を削除してみましょう。

操作の手順は、以下のようになります。

（１）エスケープ（Esc）キーを押して、メインメニューを開きます。
（２）下矢印キーで、「１　文書」へ移動します。
（３）右矢印キーを押して、そのサブメニューに入ります。
　すると、このサブメニューの先頭項目である「１　文書一覧」が表示されます。
（４）ここで、リターンキーを押すと、『ＢＭ１６』に記録されている文書の一覧表が表示されます。
（５）上／下矢印キーを押して、先ほど作成した文書のタイトルである、「練習」を表示させます。
（６）ここで、デリート（Del）キーを押してください。すると以下のようなメッセージが表示されます。

「警告：この文書（練習）を削除してもよろしいですか”ｙｅｓ／ｎｏ”？」

ここで、削除しようとしている文書が目的の文書「練習」であることを再度確認してください。
１度文書を削除してしまうと元に戻すことはできません。
（７）この文書を削除してよければ、点字キーから、「Ｙ」（1,3,4,5,6の点）を入力します。これで文書の削除は終わりです。
　もし、この文書を削除したくなければ、このときにエスケープ(Esc)キーを押してください。
この文書の一覧には、文書の削除のほかにも、名前の変更や、文書設定の変更などの機能があります。詳しくは、「第２章　２項　２）文書一覧での操作」を参照してください。

序章－２　カレンダーとスケジュール帳

『ＢＭ１６』には、通常の文書編集の機能以外に、時計、タイマー、カレンダー、スケジュール帳、電卓などの機能が用意されています。
ここでは、その中から「カレンダー」と「スケジュール帳」の使い方について説明します。

１、カレンダーの使い方

まずは、『ＢＭ１６』のカレンダーを表示させてみましょう。
操作の手順は、以下のようになります。
（１）メインメニューを開きます。
（２）下矢印キーを押して「４　アクセサリ」へ移動します。
（３）右矢印キーを押してそのサブメニューに入ります。すると、このサブメニューの先頭項目である「１　時計」が表示されます。
（４）下矢印キーを押して、「５　カレンダー」へ移動します。

（5）ここでリターンキーを押すとカレンダーが表示され、今日の日付と曜日が表示されます。

この状態では、以下のキー操作が可能です。
左　／　右矢印キー　…　日付を１日単位で移動します。
上　／　下矢印キー　…　日付を１週間単位で移動します。
スペースキー　…　今日の日付に戻ります。
エスケープ（Esc）キー　…　カレンダーを閉じます。

これらの操作で、来月の１日が何曜日か確認してみてください。
さて、カレンダーの使い方はお分かりいただけましたでしょうか？

２、スケジュール帳の使い方

実は、前節で説明したカレンダーには、スケジュールを書き込んでおくことができます。
ここでは、その方法を説明します。
例として一週間後に重要な会議があるということにして、それを書き込んでみましょう。
操作の手順は、以下のようになります。
（1）前節のようにカレンダーを開いて、今日の日付を表示させます。
（2）今回は来週のスケジュールを書き込みたいので、下矢印キーを押して来週の日付を表示します。
（3）ここで、リターンキーかタッチカーソルキーを押すと、スケジュール帳が開き、その日の予定を書き込める状態になります。
短い時間「スケジュール帳」と表示され、その後次のような表示に変わります。
「★ 3,5の点２マス（日付と曜日）」
この行の右側に予定を書き込みましょう。例えば、「重要会議」と書き込んでみてください。
この時、「★」と日付の部分は書き換えないように注意してください。この部分を書き換えてしまうと、その日の登録として処理できなくなってしまいます。
（4）書き込みが終了したらエスケープ（Esc）キーを押してください。これで元のカレンダーの表示に戻ります。

３、カレンダーでスケジュールを確認する

さて、ここでカレンダーの表示をもう一度見てみましょう。
カレンダーを閉じてしまった方は、もう一度開いて、先程スケジュールを書き込んだ日付に移動してください。今度は、１マス目に「＊」（　1,6の点）が表示されています。これがスケジュールがある日のマークです。
このマークがあったら、日付の右側にその日に登録されているスケジュールが表示されます。
そのまま右シフトキーを押して、確認してみてください。
このように、『ＢＭ１６』のスケジュール帳機能は、カレンダーに書き込む感覚で使うことができます。
しかし、書き込まれたスケジュールは、月毎（または年毎）に『○○年■■月の予定』といった一般の文書名（ファイル名）として保存されています。
ですので、不用になった登録は、文書を削除することで一括して消してしまうことができます。

序章－３　コマンドの検索

ここで、コマンドをより簡単に選択できる「コマンド検索機能」について見てみましょう。
コマンド検索機能は、コマンド名の一部を指定して、そのキーワードを含むコマンドの一覧表から目的のコマンドを選択できる機能です。

ここでは、例として、「時計」コマンドを実行してみましょう。
操作の手順は、以下のようになります。

（1）メインメニューを開きます。

（2）点字入力キーから、「時計」と入力し、リターンキーを押します。

（3）すると、「時計」というキーワードを含むコマンドの一覧表が表示されます。
上下矢印キーで一覧表の中を移動してみると、このキーワードを含むコマンドは２個あることが分かります。

（4）「1　時計」と表示されている状態で、リターンキーかＯＫキーを押します。

これで時計コマンドが実行できました。
現在の時刻が表示されているでしょうか？
元の表示に戻るには、エスケープキーを押してください。

序章－４　ヘルプの使い方

入門編の最後に「ヘルプ機能」をご紹介します。
ヘルプ機能とは、今の状態で可能な操作を点字表示で確認できる機能です。
ほとんどの操作状態から、情報（Inf）キーを押すと、ヘルプ情報が表示されます。
例えば、文書編集状態で情報（Inf）キーを押すと、以下のような操作情報が表示されます。
この中には、まだご紹介していない機能が多く含まれていますが、必要な機能から順にマスターしていってください。

１、編集操作

基本操作

1文字削除	…	デリート（Del）キー、バックスペース（ＢＳ）キー
改ページ	…	コントロール（Ctrl）キー　＋　リターンキー
自動送り	…	左右シフトキーの同時押し
編集情報の表示	…	情報（Inf)キー　＋　エスケープ（Esc）キー

キーワード検索

新規検索	…	シフト　＋　左右親指キー
前を検索	…	シフト　＋　左親指キー
後ろを検索	…	シフト　＋　右親指キー

ブロック操作

範囲選択	…	シフト　＋　矢印キーまたはタッチカーソルキー
コピー	…	範囲選択後コントロール（Ctrl）キー　＋　インサート（Ins）キー
切り取り	…	範囲選択後シフト　＋　デリート（Del）キー
貼り付け	…	シフト　＋インサート（Ins）キー
削 除	…	範囲選択後デリート（Del）キー

また、「文書一覧」を開いている状態で情報（Inf）キーを押すと、次のようなヘルプ情報が表示されます。

２、文書一覧での操作

文書の選択	…	リターンキー
新規文書の作成	…	インサート（Ins）キー
文書の削除	…	デリート（Del）キー
文書名の変更	…	バックスペース（ＢＳ）キー
文書設定の変更	…	スペースキー
文書ショートカットの設定	…	シフト　＋　スペースキー
キャンセル	…	エスケープ（Esc）キー

このように操作の状態に応じたヘルプ情報を簡単な操作で確認することができますので、ご活用ください。

△　仕　様

１、名称 ： ブレイルメモ１６　（Braille Memo 16）
２、型式 ： ＢＭ１６
３、点字表示マス数 ：１６マス
４、操作キー： ①シフトキー（４キー）
　　・右シフト（Ｒシフト）キー
　　・左シフト（Ｌシフト）キー
　　・コントロール（Ctrl）キー
　　・オルト（Ａｌｔ）キー
　②点字キー（８キー）
　　・１の点キー～６の点キー
　　・リターンキー
　　・スペースキー
　③編集キー（５キー）
　　・バックスペース（ＢＳ）キー
　　・デリート（Del）キー
　　・インサート（Ins）キー
　　・情報（Inf）キー
　　・エスケープ（Esc）キー
　④矢印キー
　　・左矢印キー
　　・右矢印キー
　　・上矢印キー
　　・下矢印キー
　⑤タッチカーソルキー
　　・１６点字表示マスに対応

５、通信用シリアルポート ： ＲＳ２３２Ｃ・９ピン
６、電源 ： 専用ＡＣアダプタ（入力ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０／６０Ｈｚ、出力ＤＣ７Ｖ）
　内蔵専用バッテリー（ニッケル水素２次電池）　・フル充電 約４時間
　　・連続使用時間 約２５時間
７、消費電力 ： 使用時　約1.5W
　充電時　最大15W
８、使用温度範囲：　５℃～３５℃
９、使用湿度範囲：　２０％～８０％ＲＨ（ただし、結露しないこと。）
１０、大きさ ： 幅２４４mm×奥行き１６０mm×高さ４５mm
１１、重さ ： 約１ｋｇ（本体のみ）
１２、付属品 ： 専用ＡＣアダプタ、ＣＤ　１枚
　墨字版取扱説明書（入門編のみ）、点字版取扱説明書（入門編のみ）
　操作キー名称表示シール

ケージーエス株式会社
〒３５５－０３２１　埼玉県比企郡小川町小川１００４
ＴＥＬ：０４９３（７２）７３１１　ＦＡＸ：０４９３（７２）７３３７
e-Mail ： info@kgs-jpn.co.jp
URL ： www.kgs-jpn.co.jp